

# モンゴリアンクラブ

No.42 2024/11/1  
発行：鳥取県モンゴル  
中央県親善協会

## 当親善協会会長交替 新会長に内田博長氏就任

令和6年4月14日（日）エキパル倉吉多目的ホールにて令和6年度総会開催。議案は全て承認されました。役員改選により、永年会長として尽力いただいた河本義永氏が会長職を退任、顧問として引き続きご指導いただくこととなりました。代わって、新会長に内田博長氏が就任されました。理事の交替もあり新体制で活動することが決定しました。

### 前会長 河本義永氏ごあいさつ

初代浜崎会長の後任として2008年（平成20年）からモンゴル中央県との友好交流を担ってまいりましたが、この度、退任させていただくこととなりました。

顧みますと、1997年境港市で開催した「山陰・夢みなど博覧会」にモンゴル中央県が出展。これにより民間交流への機運が高まり、1998年12月当協会が設立されました。

現在まで、訪問団の派遣、子ども達の受入、日本語学級の運営等、継続的に実施できたことを嬉しく思います。

今後の充実・発展を願っています。



2019年交流の翼でモンゴルを訪問。「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット in モンゴル」の展示を説明する河本前会長



2017年交流の翼訪問時、母子家庭等就学支援生と父親に対面した内田新会長

### 新会長 内田博長氏ごあいさつ

設立26年目に第3代会長をお引き受けすることとなりました。

国際的な交流は、民間団体と行政とが車の両輪となって進めていくことが大切だと言われています。

モンゴル中央県との交流を担う片輪として、真に意義のある交流を皆様と共に取り組んでまいりましょう。

よろしく申し上げます。

# モンゴル中央県の子ども達 6年ぶりに来県交流

鳥取県モンゴル中央県青少年交流事業をコロナ禍を挟んで6年ぶりに開催。6月13日から25日までの13日間、13歳～17歳の青少年10名と引率教師1名が来県。県内各地にホームステイしながら、2日間の体験通学、交流事業、広島平和学習に取り組みました。

当会ホームページでも詳細を載せていますのでご覧ください。

## 恒例の日本語弁論大会感動

6月16日（日）に倉吉市の新日本海新聞社中部本社ホールで恒例の日本語弁論大会を開催。

「私のゆめ」をテーマに10名が自分の考えを明瞭な発音で発表。参加者は一人一人に感動の拍手を送りました。審査の結果、最優秀賞エンフルーンさん(15歳)、優秀賞ナムーンザヤさん(15歳)、ミシェールさん(14歳)、他7名に努力賞を授与。



堂々の発表。前列5名の審査員（右から内田会長、古波蔵氏(日本語指導)、森田氏・後藤氏(ホストファミリー代表)、大下氏(会員代表))を悩ませました。

弁論発表の後はニュースポーツ「ボッチャ」で交流。判定にも熱が入る！



優秀賞ミシェールさんに賞品を授与する内田会長

子ども達とホストファミリー、参加者が軽食ランチで交流



弁論審査の間、子ども達が踊りや歌を披露。アイドルグループみたいに参加者が激写！



## ● 広島平和学習で平和の大切さを実感

6月21日（日）に広島平和記念公園、広島平和記念資料館を訪問。ピースボランティアによる案内で、想像以上の原爆の悲惨さを知り世界の平和への意識を高めました。



ピースボランティアの説明を真剣に聞く



みんなで折った千羽鶴をお供え

## ● 学校体験が一番楽しい

県内9か所の小・中・高等学校の協力を得て通学体験。「生徒や先生との交流が一番楽しかった」と子ども達共通の感想。給食にもみんながびっくり！



ふるさと日南邑に合宿して  
日南町の交流

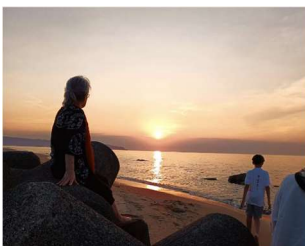


境港総合技術高校体験通学の一コマ

日南中学校で初めて顕微鏡をのぞいた

## ● 各地でホームステイや交流

県内各地18名のホストファミリーにお世話になり、鳥取の自然や文化、暮らしに触れました。



ホストファミリーと  
海に沈む夕日を見た



県立図書館で来館した子  
ども達とシャガイで交流

ホストファミ  
リリー宅でピザ  
パーティー



境港漁港で  
大型漁船を  
バックに





## 米子国際フェスティバルでモンゴルブース好評



10月6日(日)米子市文化ホールで開催された「よなご国際交流フェスティバル2024」にモンゴルのブースを設置。写真展示、モンゴル製品の販売、クイズコーナーともに好評でした。

モンゴルのおしゃれなショルダーバッグはあっという間に完売。

来場者の中にはモンゴルに興味があり、熱心に質問をされる方もありました。

11月10日、伯耆しあわせの郷で開催される国際交流フェスティバルでも出展します。

## グラウンド・ゴルフ国際大会に モンゴル中央県団が出場

湯梨浜町町制20周年を記念して「グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2024」が9月27・28日に開催され、モンゴルを含む15か国が参加。大会終了翌日に、モンゴル中央県から参加した14名を砂丘等に案内しました。



2チーム編成で競技参戦

山陰松島遊覧船を楽しみ、  
内田会長を囲んで



お城まつり  
でお姫様、  
武将と



旧交を温めて



迫力のある砂像に感動!